

魚病対策事業

勝俣 亜生

1. 目的及び内容

魚病の発生及び蔓延を防止し魚病被害を軽減化させると共に、食品として安全な養殖魚生産の確保を図ることを目的とする。

魚病発生状況を把握し適切な治療指導をするために定期的に養殖場を巡回する防疫対策定期パトロール、魚病の発生を予察しその未然防止を図るための養殖場の環境観測、そして水産用医薬品の使用の適正化を図るための指導及び医薬品残留検査を行う水産用医薬品指導事業を主な内容とする。

本報告では平成元年度の魚病発生状況と養殖場の環境調査の結果を述べる。

2. 方法

(1) 魚病発生状況

1989年4月から1990年3月までに行った9回の防疫対策定期パトロール時の聞き取りによるものと養殖業者から持ち込まれた病魚を検査したものによる。検査件数を表1に示した。

表-1 検査件数(1989年4月～1990年3月)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
クルマエビ	0	2	1	4	2	2	4	4	0	0	0	0
魚類	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0

(2) 養殖場環境調査

1989年4月から1990年3月まで沖縄本島にあるクルマエビ養殖場及び魚類養殖場で2回、ウナギ養殖場で1回の環境調査を行った。測定項目は、水温、塩分濃度及び栄養塩濃度(窒素、リン)である。

水温及び塩分濃度はYEO-KAL製T-Sメーター MODEL602 で測定し、栄養塩濃度はStrickland & Parsons (1972) の方法に従った。

3. 結果及び考察

(1) 魚病発生状況

①クルマエビ

種苗生産時にラゲニディウム症と中腸腺壊死症が1件ずつあった。ビブリオ病は昨年から続いているものが5月までみられ、今年の種苗は9月から発生がみられた。また、いわゆる marine vibrio による疾病が5月と10月に同じ養殖場で発生し、相当な被害を出した。フサリウム症は例年通り11月から発生がみられた。鰓の一部が壊死して鰓黒症状を呈する疾病が6月に1件あったが、昨

年みられたものと同じ症状で環境性のものと思われる。

②魚類

種苗生産時のエピテリオシスティス類症が、5月から6月にかけてシマアジとハマフエフキに発生し、シマアジでは多いときには1日に15%程度の斃死があった。ハマフエフキの被害は少なかった。

(2) 養殖場環境調査

ウナギ養殖場の結果を表2に、魚類養殖場の結果を表3、クルマエビ養殖場の結果を表4に示した。

表一 2 ウナギ養殖場水質測定結果

養殖場名	採水月日	池番号	水温	塩分	硝酸	亜硝酸	アンモニア	リン酸
H J	1990.02.13	源水	22.3		84.7	ND	ND	0.45
K Y	1990.02.13	源水	22.3		49.6	0.08	ND	1.08
K H	1990.02.13	源水	21.2		84.5	0.93	3.65	0.93
O R	1990.02.13	源水2	21.5		72.6	ND	0.08	0.44
Y R	1990.02.15	源水3	16.8		4.02	0.06	ND	0.39

表一 3 魚類養殖場水質測定結果

養殖場名	採水月日	池番号	水温	塩分	硝酸	亜硝酸	アンモニア	リン酸	クロロフィル
N S	1989.04.13				0.45	0.10	1.83	1.44	9.43
	1990.03.14		19.6		0.26	ND	0.67	ND	

4. 要約

(1)平成元年度の魚病発生状況と養殖場環境調査の結果を報告した。

(2)発生した主な疾病はクルマエビのピプリオ病・フサリウム症と、シマアジ及びハマフエフキのエピテリオシスティス類症であった。

表-4 クルマエビ養殖場水質測定結果

養殖場名	採水月日	池番号	水温	塩分	硝酸	亜硝酸	アンモニア	リン酸	クロロ フィル
FN	1990.01.24	6	13.1		0.66	ND	0.64	1.97	
		7	13.0		0.84	ND	ND	0.45	
UH	1990.01.24	L3	14.3		4.15	3.55	39.8	2.70	
		L8	14.3		3.41	0.48	13.1	1.42	
IU	1990.01.24	A	14.8		1.12	0.34	22.9	0.13	
		B	14.7		1.24	0.47	18.2	ND	
US	1989.04.13	1	22.2		0.42	0.16	0.58	0.35	52.8
		3	22.1		0.39	0.22	0.63	0.13	62.1
	1990.02.05	1	18.1		1.18	0.58	0.83	ND	
		3	18.0		3.72	3.37	19.9	0.11	
SD	1989.04.12	3	20.5	35.0	3.44	0.03	0.69	0.13	207.4
		4	20.3	35.0	0.93	ND	0.99	0.17	99.3
SY	1989.04.12	3	20.8	35.0	4.00	0.15	1.00	0.39	120.0
		4	20.5	35.0	0.50	0.16	0.81	0.34	176.4
	1990.02.05	1	17.5		2.85	0.18	ND	0.19	
		2	17.3		2.85	0.10	0.19	0.19	
YG	1989.04.13	2	22.2		1.47	4.51	27.0	1.44	245.3
		3	22.6		1.93	2.51	86.4	5.55	83.4
ON	1989.04.13	4	21.8		0.98	0.12	2.07	0.48	287.8
		5	22.0		0.34	0.06	0.74	0.34	396.7
	1990.02.06	4	18.4		3.32	5.20	1.06	0.05	
		5	18.5		1.24	0.03	0.45	0.02	
YC	1989.04.13	1	21.1		0.36	0.11	2.18	1.42	68.9
		O1	21.5		0.49	ND	2.42	0.37	143.2
IH	1989.04.12	3	21.9	35.0	0.81	2.51	5.92	2.62	280.5
		4	21.8	35.0	0.60	ND	2.35	3.15	163.1
	1990.02.06	3	17.8		23.6	12.4	0.46	1.17	
		4	17.7		1.32	0.04	0.64	0.51	
GZ	1989.04.12	2	22.7	29.0	0.36	ND	0.81	0.26	83.4
		8	23.1	29.5	0.38	0.09	0.93	0.14	146.8
	1990.02.05	2	18.0		5.22	0.10	ND	5.70	
		8	17.6		5.84	0.08	0.23	0.49	